

## 日本で自動車を運転される方へ

### ➤ 日本の交通ルール

#### 自動車の基本的ルール

- 自動車や自転車は左側通行、歩行者は右側通行です。
- 自動車と歩行者では、歩行者が優先されます。
- お酒を飲んだ人は、自動車の運転をしてはいけません。
- 自動車走行中は、携帯電話を使用したりカーナビゲーション装置などを注視してはいけません。
- 自動車に乗るときは、運転者や同乗者はシートベルトを着用してください。
- 6歳未満の幼児を乗せるときは、チャイルドシートを使用してください。
- 自動車の最高速度は、標識や標示で示されます。決められた速度の範囲内で安全に運転しましょう。なお、標識や標示で指定されていない場合、普通車の最高速度は、一般道で時速60km、高速自動車国道では時速100kmです。

#### 日本の交通標識の例



- JAFでは、日本の交通ルールを外国語に翻訳した「交通の教則」を発行しています。この本はJAFの窓口やインターネット販売しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

<裏面をご覧ください>

## ➤ 緊急時の対応

### 故障のとき

- 車が故障したときは、交通の妨げにならない場所に駐車しましょう。夜間には非常点滅表示灯などを付け、他の車に停止していることがわかるようにしなければなりません。
- 道路に故障車両を放置することは、追突事故の原因となりますので、JAFを呼んで速やかに移動させましょう。

JAFロードサービス救援コール：0570 - 00 - 8139 または、短縮ダイヤル#8139

- JAFのメンバーは、ほとんどのロードサービスを無料で受けられます。故障車の牽引も15kmまで無料です。JAFのロードサービスは24時間365日、日本全国で受けられますので、もしもの場合に備え、JAFへの入会をお勧めいたします。詳しくはJAFの窓口にお問い合わせください。
- また、海外の自動車クラブに入会されている方は、日本でも同様のロードサービスを受けられる場合があります。詳しくは、JAFの窓口にお問い合わせください。



### 交通事故のとき

- 交通事故を起こした場合は、二次災害を防ぐため、交通の妨げにならない安全な場所に車を移動して、エンジンを切ってください。
- 負傷者がいる場合は、まず119番に連絡し、救急車が到着するまでの間、負傷者の救助・手当てをしてください。
- 必ず警察（110番）に連絡し、事故の場所や負傷者の数・状況などを報告し、警察の指示を受けてください。
- 自分で警察や救急に連絡できない時は、近くの人に助けを求めてください。ただし、事故現場を離れると、ひき逃げとみなされてしまうことがあります。その場から動かないでください。友人の助けや通訳を求めるのは、事故現場へ警察官が到着してからにしてください。

救急（けが・病気） 119番 / 警察（事故・事件） 110番



### 自動車保険

自動車で交通事故をおこした時の経済的負担を軽くするために、自動車保険があります。自動車保険には、強制保険と任意保険があります。

- 強制保険（自動車損害賠償責任保険）  
自動車購入や車検の時に全ての自動車が加入することになっています。自動車事故の際、被害者や遺族に対して最低限の賠償金を補償する保険です。
- 任意保険  
強制保険での補償を補うため、また強制保険で補償されない損害を補償するための保険です。もしもの場合に備え、任意保険に加入することを強くお勧めします。

